

連結レバレッジ比率の構成に関する事項  
2022年9月末

(単位:百万円、%)

国際様式(表2)の該当番号(注)	国際様式(表1)の該当番号(注)	項目	当四半期末	前四半期末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	13,286,971	13,082,554
1a	1	連結貸借対照表における総資産の額	14,338,972	14,758,217
1b	2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額(△)	-	-
1c	7	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額(連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	-	-
1d	3	連結貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額(△)	1,052,001	1,675,663
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額(△)	58,226	60,042
3		オン・バランス資産の額 (イ)	13,228,744	13,022,512
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	63,184	54,772
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	95,971	94,436
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	20,320	23,055
6		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		連結貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額(△)	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額(△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	3,000	3,000
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額(△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	182,476	175,264
<b>レポ取引等に関する額</b>				
12		レポ取引等に関する資産の額	-	-
13		レポ取引等に関する資産の額から控除した額(△)	-	-
14		レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	1,155	8,207
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レポ取引等に関する額 (ハ)	1,155	8,207
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,324,270	1,310,879
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額(△)	1,030,816	1,020,715
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	293,454	290,164
<b>連結レバレッジ比率</b>				
20		資本の額 (ホ)	877,707	938,470
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	13,705,830	13,496,147
22		連結レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ))	6.40%	6.95%
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	13,705,830	13,496,147
		日本銀行に対する預け金の額	878,980	1,514,553
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	14,584,811	15,010,700
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))	6.01%	6.25%

(注)「国際様式の該当番号」とは、バーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

前四半期の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

2022年10月3日に当行単独による株式移転により設立した株式会社しずおかフィナンシャルグループに対し、2022年10月3日付の取締役会において、当行が保有する子会社関連会社株式の現物配当等の剰余金の配当を決議しました。

これに伴い、当該配当額を社外流出予定額として資本の額から控除したことにより、資本の額が減少し、著しい差異が生じています。

単体レバレッジ比率の構成に関する事項  
2022年9月末

(単位:百万円、%)

国際様式(表2)の該当番号(注)	国際様式(表1)の該当番号(注)	項目	当四半期末	前四半期末
<b>オン・バランス資産の額</b>				
1		調整項目控除前のオン・バランス資産の額	13,127,656	12,925,226
1a	1	貸借対照表における総資産の額	14,223,601	14,643,335
1b	3	貸借対照表における総資産の額から控除される調整項目以外の資産の額(△)	1,095,944	1,718,108
2	7	Tier1 資本に係る調整項目の額(△)	59,663	63,024
3		オン・バランス資産の額 (イ)	13,067,993	12,862,202
<b>デリバティブ取引等に関する額</b>				
4		デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関する再構築コストの額	63,185	54,773
5		デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	-	-
		デリバティブ取引等に関するアドオンの額	95,973	94,437
		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	20,320	23,055
6		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額	-	-
		貸借対照表から控除されているデリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた証拠金の対価の額	-	-
7		デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額のうち控除する額(△)	-	-
8		清算会員である銀行が補償を義務付けられていない顧客とのトレード・エクスポージャーの額(△)		
9		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	3,000	3,000
10		クレジット・デリバティブのプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額(△)	-	-
11	4	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	182,478	175,267
<b>レボ取引等に関する額</b>				
12		レボ取引等に関する資産の額	-	-
13		レボ取引等に関する資産の額から控除した額(△)	-	-
14		レボ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	1,084	8,207
15		代理取引のエクスポージャーの額		
16	5	レボ取引等に関する額 (ハ)	1,084	8,207
<b>オフ・バランス取引に関する額</b>				
17		オフ・バランス取引の想定元本の額	1,399,500	1,384,329
18		オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額(△)	1,053,580	1,043,339
19	6	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	345,919	340,990
<b>単体レバレッジ比率</b>				
20		資本の額 (ホ)	785,929	848,262
21	8	総エクスポージャーの額((イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)) (ヘ)	13,597,475	13,386,667
22		単体レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ))	5.77%	6.33%
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率</b>				
		総エクスポージャーの額 (ヘ)	13,597,475	13,386,667
		日本銀行に対する預け金の額	878,980	1,514,553
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	14,476,456	14,901,220
		日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ)/(ヘ'))	5.42%	5.69%

(注)「国際様式の該当番号」とは、パーゼル銀行監督委員会により2014年1月12日に公表されたレバレッジ比率の枠組みと開示要件と題する文書の表1及び表2に記載された番号です。

前四半期の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

2022年10月3日に当行単独による株式移転により設立した株式会社しずおかフィナンシャルグループに対し、2022年10月3日付の取締役会において、当行が保有する子会社関連会社株式の現物配当等の剰余金の配当を決議しました。

これに伴い、当該配当額を社外流出予定額として資本の額から控除したことにより、資本の額が減少し、著しい差異が生じています。